

資料4-2

課題チェックシートについて

技術ニーズ/技術シーズの情報共有のあり方の検討

背景

- ◆ これまでの自治体ヒアリングや下水道技術開発会議でのご意見
 - ✓ 自治体職員の技術情報の認識不足。
 - ✓ 課題を認識したとしても、解決策の探し方が分からない。
 - ✓ 職員数や予算が限られる自治体では、何が課題であるのかを考える余裕が無いのではないか。 等



- ◆ 技術ニーズ/シーズの情報共有方法として、課題チェックシートを検討してはどうか。

課題チェックシートの目的:

- ① 現在直面している技術的課題・ニーズを各事業主体が認識すること
- ② 課題を認識した上で、現在あるサポート内容を把握し、解決のための一歩を踏み出すこと
- ③ 既存のサポート内容では解決困難な場合、もしくは解決策が無い場合は、その課題・ニーズを明確化し、情報発信する → 産官学で解決策検討へ

今年度の取組方針(案)

◆ 課題チェックシートの作成

- ✓ これまでの自治体ヒアリング結果、各種会議の議題を振り返り、技術的課題・ニーズをより具体化
- ✓ 分野(例えば、事業運営費不足、人員不足、老朽化施設の増大)を絞って、課題チェックシートを作成
- ✓ 必要に応じて、委員所属の団体に対して、サポート内容等の情報提供を依頼

◆ モデル都市での試行

- ✓ 各主体の協力が得ることが可能な都市において、課題チェックシートを活用して、一連の流れ(課題把握⇒解決策検討⇒ニーズの明確化)を確認
- ✓ 試行により、活用事例をとりまとめるとともに、活用にあたっての課題を整理

令和2年度第2回下水道技術開発会議にて試行結果を報告。

課題チェックシートフロー

類似団体の各種指標(布設年数等)と自団体の指標とを比較

「老朽化施設の増大」に関する指標の例

	供用開始年月 [年]	稼働年月 [年]	処理開始年月 [年]
自団体	X V	Y	Z
類似団体	X'	Y'	Z'

課題分野

- 事業運営費不足
- 人員不足
- 老朽化施設の増大

ツールが問題の有無を判定

問診票形式で課題リストを提示 & 選択

「老朽化施設の増大」

- 管きょ施設に課題有り
 - ・ 健全度の把握
 - 計画的調査を実施してきていない
 - 適切な点検調査手法がわからない
 - 点検調査結果の解析ができていない
 - 圧送管の調査ができない
 - ・ 更生・改築・修繕
 - 施工条件の制約で工事困難
 - 予算を確保できない

課題の解決策を揭示

- ・ ガイドライン
- ・ 技術概要
- ・ 導入効果
- ・ 予算・支援制度
- ・ 問合せ & 相談先

現在ある解決策を把握し、
解決のための一歩の踏み出しをサポート

技術的課題・ニーズを認識